

【 診療科:血液腫瘍内科】
 【 レジメン登録番号:IG-105 】

〈 I-Pd 療法 〉

【1コース目】

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)											
			1	...	8	...	15	...	21	22	...	28		
サークリサ	10mg/kg	div	○		○		○					○		
ボマリスト	4mg/body	p.o.	○								○		
デキサート	33mg/body	div	○		○		○					○		

【2コース目以降】

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)											
			1	...	8	...	15	...	21	22	...	28		
サークリサ	10mg/kg	div	○				○							
ボマリスト	4mg/body	p.o.	○								○		
デキサート	33mg/body	div	○				○							
レナデックス	40mg/body	p.o.			○							○		

【1コース期間: 28日】 【総コース数: コース】

【適応癌種:再発または難治性の多発性骨髄腫】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

【1コース目】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)	投与日
Rp.1	ボマリスト 4mg/body	p.o.(分1)	day1~21
Rp.2	ボラミン 5mg	div(15分で)	day1, 8, 15, 22
	ガスター注 20mg		
	アセリオ 650~1000mg		
Rp.3	デキサート 33mg ^{※1}	div(15分で)	day1, 8, 15, 22
	生理食塩水 50mL		
Rp.4	サークリサ 10mg/kg	div(添付文書参照 ^{※3})	day1, 8, 15, 22
	生理食塩水 250mL ^{※2}		

【2コース目以降】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)	投与日
Rp.1	ボマリスト 4mg/body	p.o.(分1)	day1~21
Rp.2	レナデックス 40mg/body ^{※1}	p.o.(分1)	day8, 22
Rp.3	ボラミン 5mg	div(15分で)	day1, 15
	ガスター注 20mg		
	アセリオ 650~1000mg		
Rp.4	デキサート 33mg ^{※1}	div(15分で)	day1, 15
	生理食塩水 50mL		
Rp.5	サークリサ 10mg/kg	div(添付文書参照 ^{※3})	day1, 15
	生理食塩水 250mL ^{※2}		

【参考文献:】

【備考:※1 75歳以上の患者には、デキサメタゾンリン酸エステルで20mgへ減量。静脈内投与・経口投与へ変更可。】

【備考:※2 総量を250mLとする。また、インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を用いて投与すること。】

【備考:※3 175mg / 時の投与速度で点滴静注を開始する。

Infusion reaction が認められなかった場合には、投与速度を段階的に上げることができる。ただし、投与速度は400mg / 時を超えないこと。】

【備考:※4 前投薬について;アセリオにボラミン・ガスター混注可。アセリオ体重にかかわらず、1000mg投与可。アセリオはアセトアミノフェン錠に変更可】

【変法情報:デキサート注は、デキサメタゾンリン酸エステルとして40mg。】